

環境中のPFOS・PFOA等(1)存在状況の経年変化

- ・ 同一地点における水質(公共用水域)、底質、生物及び大気中のPFOS・PFOA濃度を測定
 - ・ 濃度の減少傾向が **統計的に有意** → 水質(公共用水域)、底質及び大気
 - ・ 検出率の減少傾向が**統計的に有意** → 魚類
 - ・ 検出率の減少傾向が **統計的に有意ではない** → 貝類

調査対象	水質					大気 温暖期	
		河川域	湖沼域	河口域	海域		
PFOS	↓	—	↓	—	↓	↓	
PFOA	↓	↓	↓	↓	—	↓	
	底質					生物	
		河川域	湖沼域	河口域	海域	貝類	魚類
PFOS	↓	—	—	↓	↓	—**	—
PFOA	↓	—	—	↓	—	—**	↓

- ↓ : 経年的な濃度の減少傾向が統計的に有意と判定されたもの
 ↓ : 検出率が経年的に減少していることが統計的に有意と判定され、濃度の減少傾向が示唆されたもの
 — : 経年的な濃度の減少傾向(又は増加傾向)が統計的に有意であるとは判定されないもの
 —** : 検出率が経年的に減少している(又は増加している)ことが統計的に有意であるとは判定されないもの